

看護学校の夏 2020年8月

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各学年時期をずらして夏季休業に入りました。3年生は8月も学内実習を含め、外部実習に赴いています。2年生は8月11日～19日まで、母院である京都第一赤十字病院で基礎看護学実習Ⅲを行いました。猛暑の中、水分補給をしっかりと行い、健康管理に努めました。また、新型コロナウイルス感染予防のため、手洗いの励行、マスク・ゴーグルの着用をし、三密を避けるための最大限の工夫をしています。

この現状の中、実習にご協力いただける環境に感謝しつつ、精一杯の学ぶ姿勢をもって頑張っています。対象である患者さんがどんなことを求めておられるのか、どのように援助したら良いか、看護過程の展開を通して、学生自身が看護について深く考える機会を得ています。学内においても、安全面に配慮しながら、学習や技術練習に取り組んでいます。今回の実習を終えて、学生からは、「対象との出会いや病棟、指導者さんのおかげで学び多い実習でした」「このような状況の中、実習環境を整えて下さって感謝します」等の声が聞かれました。今後も、実習という実践的な授業の中で、学生自身が感じ取った思いを大切に成長して行ってほしいです。

この夏は学生にとっても特別な夏。学生達は遠方への帰省も制

限され、アルバイトやボランティアに参加する機会も減少しています。Withコロナの時代に次世代の看護師を養成していくため、様々な制限が多い中で、学生達の豊かな感性がのびのびと発揮され、成長し、思い描く看護師像に近づけるよう、学校も最大限の努力をしていきたいと思います。

そして、一刻も早い新型コロナウイルス感染の収束を願うばかりです。どうか今後とも看護基礎教育にご協力よろしく願いいたします。



京都第一赤十字看護専門学校